

SUNSHINE

第42号 2009年 9月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com
 URL http://www.taiyou1991.com/

太陽開発

検索

クリック!!



賃貸マンション(オーナー様)をご紹介します オーナー 荒木様

今月、ご紹介するオーナー様は”荒木ビル”と”コーポ荒木”を所有してらっしゃる、荒木チミさんです。荒木さんは今年で89歳になるそうで、趣味は毎日温泉に入る事とマンションの掃除だそうです。”コーポ荒木”は荒木さんが77歳の時に、今は亡き旦那様が建てられたそうで、それを今は大事に管理されているそうです。最近桜島の火山灰が頻繁に降っているのにもかかわらず、マンションは隅々まで掃除がいきとどいていました。荒木さんの三人の娘さんは熊本、大分、鹿児島に嫁いでいらっしゃいますが、定期的に帰ってらして、マンションの掃除も手伝って下さるそうです。

旦那様の残してくれたマンションを三人の娘さんと荒木さんがしっかり管理されているので、旦那様は幸せでしょうね。”荒木ビル”と”コーポ荒木”が荒木ファミリーの絆を結んでくれる様に思えました。いい話が聞けて良かったです。取材にご協力頂いた荒木さんありがとうございました。



荒木ビル



コーポ荒木

中村文昭さん講演会

先日、鹿児島県民交流センターにて中村文昭さんの講演会があるということで、会社の同僚と行ってきました。
 中村文昭さんは、現在三重県で「クロフネ」というレストラン 経営をされており、土・日は、レストランウェディングも手がけていらっしゃいます。
 講演会の内容は、中村さんのこれまでの歩んでこられた人生、実体験をもとに、決して押し付けがましく言うのではなく、熱いメッセージを私達の心に訴えてくれる、そんな講演会でした(^-^)
 私も、講演会に行くのは初めてで、最初は半信半疑で聞いていました。
 しかし、聞いていくうちに自然と話しに聞き入ってしまう、中村さんの言葉一つ一つが心に響き感動する、素晴らしいお話ばかりでした。
 中村さんがおっしゃっていた言葉をいくつかご紹介致します。
 まずは、「人との出会いを大切にすること。」中村さんには、尊敬する師匠がいてその師匠からいろんなことを教えてもらい、出会いの大切さ、人との縁の大切さを教わったそうです。人の第一印象は大抵、学歴などで判断される世の中です。しかし、最も大事なものは、「人間力」だと中村さんは説きます。損得勘定抜きで 物事を考え、人から喜んでもらえるにはどうすればよいかなど、その人の魅力、人間力を磨く事によって、いろんな人が支えてくれる、助けてくれる、何よりも大切なことだとおっしゃっていました。
 他にも沢山の言葉を私たちに教えて下さいました。
 講演の終了時間が、近づくにつれ、私は時計が気になり、もっと中村さんの話が「まだ聞きたい! まだここにいたい!」という気持ちになりました。
 中村さんの話は、全ての仕事に通ずる事があり、私のこれまでの考え方など、反省すべき点も多くありました。
 人との出会いを大切に、これからの人生に大いに役立てたいと素直な気持ちで、心から思いました。

柿内

中村さんの主な著書



中村さんが大事にしている「4つの鉄の掟」

1. 「頼まれることは試されること」
人からものを頼まれたときはその予想を上回ることをすることによって頼んだ人に感動を与える。
2. 「0.2秒で返事をする」
損得を考えるのではなく、相手の立場に立って考え、全てを受け入れるという器量を持つ。
3. 「できない理由を言わない」
できないのではなくしただけ。やってみて、どうしたらできるか考える。
4. 「今できることを探してやる」
今何が自分のできるのかを考え、できる事からする。

粋イキ



コチラのお店は、以前、サンシャインでご紹介いたしました「紅葉」さんの2号店となります☆☆☆
 「紅葉」さんは洋食がメインとなっておりますが、「粋」さんは和食がメインとなっております。「粋」さんのオススメの一品は「天ぶらの盛り合わせ」で、使用する油にまでこだわっていて、油を3種類混ぜ合わせて揚げているそうですよ(^o^)/ カラッと揚がっていてと〜っても美味しいですよ♪



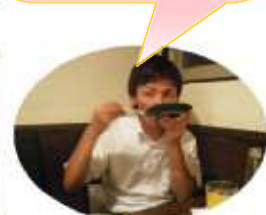
和食が中心のお店です。
 外観・店内はとっても落ち着いた雰囲気のお店です☆☆☆
 もちろん
 飲み放題コース
 もありますよ。
 飲み放題コース 3,500円〜
 【料理8品・飲み放題・2時間】

★黒豚が「カラ」煮ゆず胡椒風味★



♪天ぶらの盛り合わせ♪

メチャクチャうまい♪
 早く食べないと..
 大好き『えび天』が
 食べられちゃうよ〜



★黒豚が「カラ」煮ゆず胡椒風味★



★鴨ねぎ炭火焼き★

粋

鹿児島市荒田2丁目42-2

♪営業時間♪

18:00~1:00

定休日(水曜日)



今月の一冊 重力ピエロ 伊坂幸太郎

私の好きな作家は、浅田次郎・夢枕獏・宮本輝と言いたいぶし銀・熟練の先生方なのですが、この秋は、今若者に人気の作家にTRYしてみようと思います。そこでまず、極々身近な若者達にリサーチしたところ、伊坂幸太郎・石田衣良・東野圭吾の名前が挙がったので、この三人の作品を順次紹介していきます。今月は三人の中でも一番若い伊坂幸太郎氏の作品です。



1971年千葉県生まれ。東北大学法学部卒業。2000年『オーデュボン』で、新潮ミステリー倶楽部賞を受賞デビュー。『重力ピエロ』で70年代生まれとしては、初の直木賞候補に。'04年『チルドレン』、'05年『グラスホッパー』、'06年『死神の精度』が直木賞候補に。'04年『アヒルと鴨のコインロッカー』で吉川英治文学新人賞受賞。洒落なユーモアと緻密な構成で読む者を唸らせ、近年稀にみる資質の持ち主として注目を浴びている。'08年『ゴールデンランパー』で第5回本屋大賞と山本周五郎賞を受賞した。

兄は泉水、二つ下の弟は春、優しい父、美しい母。家族には、過去に辛い出来事があった。その記憶を抱え兄弟が大人になった頃、事件は始まる。連続放火と、火事を予見するような謎のグラフィティの出現。そしてそのグラフィティと遺伝子のルールの奇妙なリンク。謎解きに乗り出した兄が遂に直面する圧倒的な真実とは…。溢れくる未知の感動、小説の奇跡が今ここに。
 (新潮文庫裏表紙より)

長編ですが、目次が細かく区切られており(短いものでは3頁・一番長いものでも19頁)其々にユニークなタイトルが付いており、リズム良く読み進むことができました。登場人物も魅力的で、この夏映画化されたのも納得です。冷静に考えればかなり深刻で暗い問題を描いているのに、どこか軽やかな感じ..特に『重力ピエロ』ネーミングも絶妙!ただ、裏表紙(上記)の紹介文はやや誇張し過ぎの感もあります。